平成 27 年２月１４日（土）

【松ヶ岡活用案】

具体的保存活動、修復募金活動に入る前段階として、屋敷そのものや場所及び歴史背景や保存意義等を PR するため、小規模少人数でも以下記載のような事業案を実施していくことを提案する。

概ね全ての企画、活動案を一覧として（春～夏、秋頃までの数か月間分）、委員会共通認識を持った上で、対外的に告知していく。また、報道機関との連携を高めるために掛川記者クラブに投げ込み、当日取材事前取材の対象としてもらい、様々な場面で活字化していただくよう努める。

◆プロジェクト推進委員会による企画

・プロジェクト推進委員会と掛川記者クラブによる意見交換会
　会の意義や委員の思いなどを伝えると共に、今後の活用予定等を報告

・プロジェクト推進委員会顧問による講話講演の実施
　顧問である榛村純一氏、鷲山恭彦氏による市民を対象とした無料講演会
　広く多くの市民を募らなくとも委員やその知り合い、何かしらの関わりを持つ関係者などによる少人数で良い、又は先着限定 10 名 20 名といった車座講話手法も有り

・定例講話会の開催とシリーズ化
　月 1 回の講話をシリーズ化して、日時とその時の講師、演題等を告知
　興味のある講話内容や好きな講師の時のみなど、出欠の義務化をしない

・山崎家子孫らとの交流会
　山崎家との交流会、お礼を兼ねたおもてなし会の実施

・行政等が企画実施する事業開催会場としての使用依頼、PR 依頼
　市民を対象としたフォーラムやシンポジウムなどの会場のひとつとして、正式に委員会から PR 依頼へ出向き、実際に使用していただくよう努める
　観光協会や関係者が発行するパンフレット、HP 等への正式記載依頼

◆プロジェクト推進委員会委員による活用

・参画する市民団体、NPO 団体らによる自らの会の活動活用
　観光ボランティアガイド猫の手の会によるガイドツアー、時ノ寿の森クラブや現代美術研究会による定例会議会場として、実施事業の一部開催に松ヶ岡を会場に、など検討依頼
　商工会議所 YEG、JC 等による何らかの催事企画及び実施の検討依頼
　定めた期間中に 1 団体 1 実施事業を目標として取りまとめるのはどうか

・市民有志によるお掃除の活動 PR
　月 1 回のお掃除活動の普及、拡大並びに PR
　あくまでボランティア活動であり、何らかの見返りを求めているものではないが、定期的なマスコミへの露出や関係者からの御礼、表彰式典などは、有効な PR でもあり、参加者への励みにもなるのでは

◆地域住民や市民以外を対象とする企画立案

・市外、県外、場合によっては世界を対象とした情報発信の検証検討

少人数で良いので、全国の歴史関係者、建築関係者、又は過去に尋ねた先進地施策研修先の方々を松ヶ岡へ招き、それらの有識者から個々に様々な場面で掛川での取り組みを全国発信していただくよう仕掛ける

韓国、台湾などは、旧建築物の保存や活用に興味を示し易く、また実際に来掛しているのは上流階層（有名大学先生と学生、著名建築家、財界関係者）

◆募金活動の先駆けとして

・上記活動に関する会場使用料や参加者参加料等を浄財にて徴収

主催者としての使用、一参加者としての参加料等は、基本的に無料としながら、募金箱等を設置し、それぞれの判断において浄財として寄附を募る

◆確認案件

・会場施設について

現時点において、屋敷や施設の使用は、いつでもだれでも可能なのか

使用不可な屋敷の一部や敷地内部分があるのか

冷暖房等の空調設備、電気設備、火気取扱い、音響音源等の規制は

・会場使用料について

基本的に無料としながら、募金として募ることは可能か

今後の活用計画との擦り合わせ作業が必要か、今後の自己財源確保のための有償使用料設定の基礎のようなものがあるのか、まずは無料としてスタートを切ってしまっても良いのか